

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ポニーナ勝田台		
○保護者評価実施期間	令和7年10月28日		～ 令和7年11月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4人	(回答者数)	4人
○従業者評価実施期間	令和7年11月7日		～ 令和7年11月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 4人	(回答者数)	4人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者から信頼を得たうえで事業を継続することができており、利用者(児童)自身も楽しく通うことができています。	日々の送迎時には簡単にはあるが今日の児童の様子をお伝えしたりするなどのコミュニケーションの機会を設けている。また、HUGのメッセージ機能を活用し、リアルタイムに連絡をしあえるような環境を整備しているため、連絡事項等は円滑に伝達することができています。	今後も保護者との連携を密にしなが事業を継続していくことで、安心して支援をお任せいただけるような事業所づくりにつなげていく。
2	児童同士が関わりやすい環境の中で過ごすことができています。	児童同士で関わっていく中で大切なことを、遊び等を通して自然に学んでいく環境が作りやすくなっている。	児童同士で関わるきっかけなどを今後も職員間で試行錯誤しながら考えていき、自然な流れで楽しみながら学びにつながるような事業を築いていく。
3	日によって活動を変えているので、児童の成長をあらゆる角度から見守ることができる。	工作や運動などの様々な分野の活動を、毎週曜日が重なりすぎないように行っていくことで、活動での経験の差をできる限り減らす工夫がされている。また、活動の種類が多いことで、児童自身も新たな気付きを得ることがしやすい環境になっている。	継続して活動内容をローテーション・変更していくことで、これからも様々な気づき・成長につなげていけるように支援を継続していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々活動内容の発信はしているが、時々どんな活動をしているのか分からないとの声があった。	まだオープンして間もないので、情報共有の方法などが浸透しきっていない可能性がある。	不明点などには丁寧に向き合ったりしながら、情報発信を継続していくことで、保護者とのコミュニケーションの機会を少しでも大切にしていきたい。
2			
3			